

評価結果を踏まえた事業所管課の改善の方向性

利用者の利便性や施設のセキュリティ向上に向け、一部の学校で予約システムやシステムと連動したスマートロックを試行し、他の学校への導入拡大を目指します。
また、利用のニーズを把握するとともに、学校施設を活用して個人が参加できるイベント・教室などを開催するなど、多くの方に利用していただくための検討を進めます。

改善プログラム

No	取り組み内容	目標			実施結果		
		指標	現状値 (時点)	目標値 (時点)	実績値 (時点)	実施内容 (2025年度)	実施内容 (2026年度)
1	【予約システムおよびスマートロック導入による利便性向上】 利用者の利便性向上などを目的に、予約システム及びスマートロックを試行導入し、その運用や効果を検証する。	試行・検証	－ (2025年3月)	検証終了 (2027年3月)			
2	【利用単位の見直し】 多くの方に利用機会を提供できるよう、利用単位(時間)や一ヶ月当たりの利用上限数の見直しを試行・検証する。	利用単位に関する ルールの見直し	－ (2025年3月)	見直し完了 (2027年3月)			

改善プログラム							
No	取り組み内容	目標			実施結果		
		指標	現状値 (時点)	目標値 (時点)	実績値 (時点)	実施内容 (2025年度)	実施内容 (2026年度)
3	【イベント等の実施】 学校施設が利用できることを広く知ってもらうため、学校の空いている時間帯に、個人でも参加できるイベントやスポーツ教室等を一部の学校で実施する。	イベント・教室等の試行	－ (2025年3月)	実施 (2025年7月)			
4	【ニーズの調査】 利用に関するニーズを把握するため、イベント等を実施した学校など、その地域の方々に対してヒアリングを実施する。	ヒアリングの実施	－ (2025年3月)	実施 (2025年7月)			

評価結果を踏まえた事業所管課の改善の方向性

他の公共施設との公平性、事業継続に係る財源確保の観点から、2027年に予定している「まちだ施設・案内予約システム」の更改を視野に、受益者負担及びキャッシュレス決済の導入を検討します。検討にあたっては、教育施設であることを踏まえたうえで、利用者の利便性、徴収の効率化、年齢や地域活動の継続に配慮した金額の設定等について整理します。

改善プログラム

No	取り組み内容	目標			実施結果		
		指標	現状値 (時点)	目標値 (時点)	実績値 (時点)	実施内容 (2025年度)	実施内容 (2026年度)
1	【無料施設における受益者負担の検討】 現在利用料金を徴収していない学校施設について、公平性の観点から受益者負担の導入を検討する。	受益者負担導入の検討	－ (2025年3月)	検討完了 (2027年3月)			
2	【キャッシュレス決済導入の検討】 現在利用料金を徴収している学校施設等について、利便性向上の観点から、キャッシュレス決済を導入する。	キャッシュレス決済導入	－ (2025年3月)	導入完了 (2027年3月)			